

## ホーチミンでの バカンス

JR3MVF/XV2YL 三好京子



久しぶりのホーチミンは相変わらずバイクの洪水で活気に溢れていました。でも多くのバイクが新しく性能の良いものになっていったように思います。初めてホーチミンを訪れてから20余年が過ぎています。当初の強烈な印象がまだ残像として残っていますので、経済成長の著しい今の中心地は不思議な気がしました。もしかしたらこれが最後のホーチミンの旅になるのではと秘かに考え、今回は最初の訪問からのアルバムを整理して持参しました。アルバムを整理している時点で、ZAGのメンバーもたくさん写っておりそれを眺めながらいろいろな事を思い出しました。今回は友人のHL1KDW, M Chaeさんと一緒に旅が出来てとても楽しいものになりました。最初は春のゴールデンウィークを予定していたのですが、3月に東北大震災が起こったので、秋に延期しました。7年ぶりの訪問でしたが、旧友のXV2A (Mr. Ai) さんご夫婦が空港に迎えに来てくれ殆ど付ききりでお世話をいただき本当に有難いと感じました。今までにアイ.ポールQSOをしていたのですが、ゆっくりとお話ができなかった皆さんのXVのOM方といろいろなお話ができたり 初めての場所に案内していただいたりしてハム以外にも新しいホーチミンにも少し触れる事ができました。Chaeさんは初めてのベトナム訪問でバイクの洪水とそのバイクの間をぬって道路を渡る技?に驚くと共に楽しんでいました。Hi Aiさんから素晴らしいコールサイン、XV2YL (JR3MVF) , XV2KDW (HL1KDW) と箇所から運用できるライセンスをいただき、旅の合間をぬってオン . エアを楽しみました。杉山さん (JA3AOP) に呼んでいただきQSOできたのも思い出の一つです。Cu Chiのシャックは市内中心から1時間余りの所にあるのですが、そこには無線設備だけでなく、大きなTVや素晴らしいオーディオ設備、積み上げられたCDの山がありました。無線の合間には大音量で音楽をたくさん聴くことができ、ベトナムのCDをすっかり買って帰ってきました。

上左 :XV2YL運用中 (Ai さん宅にて)

上右 :シャックを前にXV2KDWとXV2YL



XV2Aご夫婦とHL1KDW, JR3MVF

バイクの洪水。この中を走る車の運転には高度な運転技術が必要と思いました。



無線設備 (Cu Chiシャック)





シャック (Cu Chi)にあるオーディオの設備。特に右側の植木の後ろあるチューリップ (? 型のスピーカーは初めて見ました！  
写真には写っていませんが、勿論同じものが左側にもあります。



新しい街並にそびえる (? 豪華レストラン (Cham Charm)



レストランの中で。お世話になったOM と。

有名なホーチミン像の前でご機嫌な二人。  
郵便局、教会、チャイナタウン、戦争ミュージアム等  
定番の観光スポットの他に生演奏と音楽のBarも楽しみました！



民族舞踊 (Rexホテルのレストランにて)

左端の一弦琴の演奏の素晴らしい音色は圧巻でした  
(Rexホテルのレストランにて)



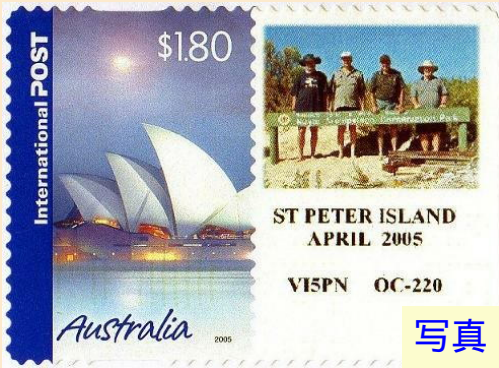


写真 5

JA3AER  
荒川 泰蔵

アマチュア無線  
の切手

写真 2



JARLの臨時社員選挙も終わり初めての社員が決まりました。会員が誰でも出席できるJARLの総会は、去る5月29日に池田市で開かれた第53回通常総会が最後になりましたが、その時の記念のカバーを写真で紹介します(写真1)。この時は池田郵便局が総会会場に臨時出張所を設け、切手の販売とともに記念小型印の押印サービスを行ってくれたので、日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)もブースを設けて協力しました(写真2)。この総会取材に来ていたCQ ham radio編集部の記事に頼まれて、「アマチュア無線の切手」の記事を書く約束をしたのですが、その期限が迫ってきて切手の整理と資料集めが忙しくなってきました。

アマチュア無線がKing of Hobby と言われるように切手の蒐集もKing of Hobbyと言われ、世界中にその愛好家(郵趣家)がいて、私の長期にわたる海外赴任中もアマチュア無線とともに郵趣も楽しむことが出来ました。その期間中に蒐集した「アマチュア無線の切手」は、2002年8月に大阪国際交流センターで開催したイベント「アマチュア無線再開50周年記念行事・ハムの国際交流とボランティア活動」で展示させて頂きましたので覚えておられる方もあるかと思えます(写真3)。今回のCQ誌への投稿はそれらのコレクションがベースなのですが、その後も世界で何種類かのアマチュア無線の切手が発行されていて(写真4)この機会にコレクションを更に充実しなければと頑張っています。



写真 6

写真 4



そんな中で、IOTAに熱心なJA3UCO細川さんが、ダイレクトで請求したQSLカードの返信用封筒に貼ってあったと枚の切手を見せてくれました(写真5 & 6)。これらは我々が2006年のSEANETコンベンションで作った写真付き切手や、2010年のJAIG年次大会でのフレーム切手と同種のP切手ですが興味深いものです。しかし、この種の切手は切手カタログには掲載されず、使用枚数も少ないものですから容易に見つけることが出来ません。読者の皆さんで珍しいアマチュア無線に関する切手をお持ちでしたら是非筆者までお知らせ下さい。「アマチュア無線の切手」の記事は1年間の連載を計画していますので、その中で紹介させて頂きたいと思えます。2012年1月号から始まる記事を楽しみにして下さい。



< 写真 3 は次ページに掲載 >

写真 1

写真 3



# アマチュア無線にまつわる世界の切手

